相模

発行所
寒川神社社務所
〒253-0195
神奈川県
高座郡寒川町宮山3916
電話　代表0467(75)0004
編集責任者　水谷智賢
印刷所　㈱さんこうどう

祭事暦

10月１日　午前８時30分
月次祭
10月17日　午前11時
神嘗奉祝祭
10月20日　午前８時30分
月次祭

鎮守の森

九月の御例祭も滞りなく斎行され、二日間に亘りての各種神賑行事も無事に終了いたしました。

『御成敗式目』より

神は人の敬に依って威を増し
人は神の徳に依って運を添う

この一文は「氏子・崇敬者の皆様が神様を敬うことによって御神威が益々発揮され、その結果神様の徳により更に、運が増し加わり、健康で幸福な家庭を築かれる。」と説いております。元明治神宮名誉宮司甘露寺受長氏が揮毫された書が現在当神社社務所玄関内に掲示されております。まさしくこの一文どおり神と人とが一体となれた御例祭の二日間でありました。茲に御例祭に各種ご協力を頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

さて東北地方太平洋沖地震が三月十一日に発生してより半年以上が経過した現在でも、神社界を始め、各地のイベントや行事では「復興」や「頑張れ」のスローガンを掲げ、復興祈願や支援が行われています。寒川神社では、斎行される各祭典にて一般の募金活動に併せ、神社支援募金を行い、多額の浄財を多くの皆様より頂戴いたしましたことに深く感謝申し上げます。

神無月を迎え、本年も残り三ケ月となり、何かと気ぜわしい時期を迎えようとしております。今月の神嘗奉祝祭をはじめとして、十一月には新嘗祭、十二月には、本年を締めくくり、年越しを迎えるにあたりての各種祭典が控えております。

人生は山あり谷あり／七転び八起き
Life has its ups and downs.；Life is full of ups and downs. と云います。

それぞれの祭典の趣旨を再度考え心に留め、各人が本年を顧みて改めて五穀の豊穣と我が国の安泰に感謝の念を捧げ年越しの準備を始めていただければと存じます。（白）

遷宮で　結ぶ人の輪　心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

例祭盛大に斎行

寒川大明神に最も由縁ある九月十九日と二十日の両日に亘り、一年に一度の例祭が盛大且つ厳粛に斎行されました。

台風の接近に伴い天候が心配されましたが、十九日は晴天で、午後一時からは前日祭、午後二時には㈳大日本弓馬会の会員により流鏑馬が奉納され、その勇姿を一目見ようと大勢の見物客が詰め掛け、射手が的を射抜く度に大きな歓声と拍手が起きていました。夕刻からは、立正佼成会奉納の万灯パレードが本年は子供纏も加わり賑やかに行われ、夕暮れ時の参道を明るく映し出しました。

翌二十日午前十時には例祭が厳粛に斎行され、神社本庁よりの幣帛を奉り、責任役員・氏子総代を始め全国各地からの崇敬者が多数参列され、大前に玉串を奉り拝礼されました。

また、本年は田中神社本庁総長も参列され、「神社の祭りは神職のみで奉仕するのではなく参列者と共に奉仕するのが本義である。寒川神社は千五百年以上の歴史を有し、全国規模でみても施設等の整った神社であるが、この神域が護られているのも、多田名誉宮司・利根宮司を始め、責任役員・総代・氏子の皆様の大きな力と、全国の崇敬者のご篤志であり、この事に感謝すると共に、更にご崇敬を賜り、益々御神威が全国に発揚される事を祈念します」との御挨拶を頂きました。

▲玉串拝礼

▲万灯パレード

▲流鏑馬神事

▲奉納演芸大会

▲献　花

▲祭ばやし

例祭にて――
❖ 被災地の早期復興を祈念

寒川神社では、本年の例祭斎行にあたり、東北地方太平洋沖地震にて被害を蒙むった被災地の早期復興を併せて祈願致しました。

神門には〝東日本大震災早期復興〟の提灯を掲灯、また、浜降祭・相模薪能と続けて祈念され、寒川神社より東北地方への応援メッセージである〝とどけ鈴の音　ガンバレ！東北〟の合言葉が、社務所の勾欄と太鼓橋前に掲げられ、参集殿では、今上陛下の「被災地に長く心を寄せ、見守り続けていくこと」とのお言葉を参拝者の心に刻んで頂ける様、懸垂幕が張られました。

宮山神輿愛好会からは、震災復興を祈り神輿を担ぎたいと要望があり、十九日の夜、境内を神輿が練り歩き、元気と熱気を被災地に向けておくりました。

田中神社本庁総長・打田小國神社宮司
❖ 例祭に御参列される

本年の例祭には、神社本庁の総長であり、日本全国の八幡様の総親神である石清水八幡宮宮司田中恆清氏と、静岡県に鎮座する、小國神社宮司打田文博氏が参列なされました。

両氏は多田名誉宮司のご案内で、神嶽山神苑も散策されました。

金華山黄金山神社より――
❖ 神酒奉納される

当神社例祭斎行にあたり金華山黄金山神社より神酒三十本が奉納されました。

黄金山神社は、神社社報でも度々被災状況を報告致しておりますが、未だ参拝も出来ない状況で、そのような中にも拘わらず今回御奉納を頂きました。

奉納された神酒は、今までの支援に対する感謝として、直会で参列者に振舞われました。

太鼓橋名称決定
❖ 新名称は「神池橋（かみいけばし）」

二月より改築工事が進められております太鼓橋は、工事も順調に進捗し、十二月二十日には竣功の予定であります。

四月より、太鼓橋の新名称を募集してまいりましたが、七月末日をもって締切らさせて頂きました。

新名称は、去る九月四日に開催されました太鼓橋改築委員会にて選定が協議され、「神池橋（かみいけばし）」と決定されましたので、ご報告申し上げます。

多数の皆様よりご応募を頂きました事、誌上より厚く御礼申し上げます。

今月の祭事

◎ 神嘗奉祝祭（かんなめほうしゅくさい）

十月十七日(月)

日本国民の大御親神と崇めまつる伊勢の神宮では、今年収穫された初穂を大御神に奉り皇室の弥栄、五穀豊穣、国家隆昌並びに国民の平安を祈念する神嘗祭が今月十七日に執り行われます。

当神社におきましても、この伊勢の神宮で行われる祭典にあわせ、神嘗奉祝祭を斎行いたします。

❖ 全総代会開催

去る九月一日、日頃より祭典等神社の運営にご尽力頂く、寒川神社の総代によって構成される「全総代会」が開催されました。

本会では、横溝隆義責任役員が議長に選出され、六月以降の祭事や行事、教化活動などの社務報告がなされ、次に平成二十二年度一般会計並びに特別会計の決算報告と例祭斎行などの件が、出席された総代の皆様に対して詳細な報告がなされました。

寒川神社商工奉賛会
❖ 第三十八回年次総会開催

去る九月十九日、寒川神社商工奉賛会の年次総会が商工祈願祭・献灯奉告祭にて、生業繁栄が祈念された後、寒川神社参集殿にて開催され、前年度の事業及び決算報告並びに本年度の事業計画・予算案が審議され、可決されました。

終了後は、春風亭柳之助春風亭昇也両師匠による記念高座が開かれ、会場は笑いの渦に包まれました。

商工奉賛会は寒川大明神を崇敬する商工業者の方々により組織され、浜降祭や例祭の提灯掲灯、国旗掲揚推進事業等が行われております。

❖ 末社御祖神社例祭斎行

秋分の日の九月二十三日、末社御祖神社の例祭が斎行されました。

御祖神社は、宮山を中心に神葬祭を執り行う家々で構成される「御祖講」の御先祖をお祀りする神社で、参列された講員の皆様は、御先祖様の御霊をお慰め申し上げ、感謝の誠を捧げておられました。

境内整備事業

「太鼓橋改築」工事奉賛者芳名

(完成予想図)

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。
誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十三年八月奉賛者】（順不同・敬称略）

二十万円　川口　壽子　茅ヶ崎市赤羽根
十万円　樋口　一郎　三浦郡葉山町
三万円　林　剛史　東京都町田市
〃　脇　文亮　寒川町小動
〃　渡邊　一弘　東京都新宿区
〃　㈲及川工業　茅ヶ崎市今宿
二万円　川瀬　征男　埼玉県北葛飾郡
〃　中島　啓介　寒川町宮山
〃　㈱相澤興産　横浜市瀬谷区
〃　藤井　惠子　東京都練馬区
〃　㈱あわ家惣兵衛　東京都練馬区
〃　峯村　孝親　東京都立川市
〃　渡邉　裕　横浜市南区
〃　小関　正　横浜市旭区
一万四千円　水村　芳夫　茅ヶ崎市萩園
一万円　矢野　茂　横浜市泉区
〃　梅田　馨　東京都杉並区
〃　中村　諭　東京都昭島市
〃　佐藤　芳美　東京都世田谷区
〃　北嶋　蘭花　海老名市中央
一万円　山口　昭和　東京都江戸川区
〃　原田　達八　愛知県碧南市
〃　天利　良子　寒川町宮山
〃　二見ミツ子　茅ヶ崎市今宿
〃　野田　重俊　横浜市港北区
〃　飯田　浩輔　東京都渋谷区
〃　髙橋　健泰　横浜市戸塚区
〃　村田八千雄　寒川町一之宮
〃　鈴木　武治　海老名市上今泉
〃　高尾　行一　寒川町一之宮
〃　尾崎　之孝　東京都大田区
〃　水口　悦子　東京都江戸川区
〃　御調　祥正　横浜市港北区
〃　小榑　進　東京都府中市
〃　関本　高男　東京都八王子市
〃　㈲樋口製作所　栃木県足利市
〃　小林　茂樹　群馬県桐生市
〃　齊藤　徹　秦野市上大槻
〃　吉澤　邦広　横浜市泉区
〃　齋藤　智典　鎌倉市今泉
〃　鴨下　順子　東京都練馬区

神前結婚式ご案内会

10月10日(月)
午前10時より午後４時迄
参加予約受付中
衣装・美容体験
≪記念写真プレゼント≫

寒川神社参集殿40周年謝恩旅行

～古き良き文化を残す台湾を巡る３日間、台湾旅情と和のおもてなしを楽しみ下さい～

台湾２泊３日 日程表

ご旅行期間　2011年11月16日(水)～18日(金)
ご旅行代金　85,000円（15名様以上ご参加の場合）
※お１人部屋ご利用追加代金17,500円

※料金に含まれているもの（往復航空運賃、ホテル代、観光バス代、観光料、ガイド料、食事代）
集合場所　寒川神社参集殿

お申込み期限　2011年10月10日(月)まで

台北101階高層ビル

１日目(16日水)：寒川発７時00分(マイクロバス) ── 東京(羽田)発10時50分 ── 台北(松山)着13時30分
参集殿から羽田空港・国際線ターミナルへ。空路台北へ(機内食１回)。現地ガイド出迎えを受け台北市観光。夜は台北101階高層ビルにある高級海鮮レストラン「頂鮮101」にて豪華ディナーをご用意!!

２日目(17日木)：台北　終日
「忠烈祠」の衛兵交代と中華4000年の至宝を集めた「故宮博物院」見学。昼食は故宮博物院に併設のレストラン「故宮晶華」にて広東料理をご賞味頂きます。故宮の文物をモチーフにしたユニークなメニューが好評です。「千と千尋の神隠し」のイメージとなった金鉱の町「九份」へご案内。台湾に伝わる伝統行事「天燈打上げ」を体験！
夕食は台北市内「欣葉」レストランで台湾料理

３日目(18日金)：台北(松山)発16時00分 ── 東京(羽田)着19時55分 ── 羽田発(マイクロバス) ── 寒川着22時00分
お土産店立寄りながら「加賀屋」にて懐石料理の昼食。食事後、現地ガイドと共に空港に出発(機内食１回)。羽田空港到着後、マイクロバスにて参集殿まで送り解散。

お問い合わせ／お申込について
■旅行企画(主催)　寒川神社参集殿謝恩旅行委員会　〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山3835
TEL 0467-75-5555　FAX 0467-75-5556
■旅行取り扱い　㈱JTB法人東京　神奈川西支店　〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3-1MNビル6階
TEL 0463-23-5166　FAX 0463-23-9057　担当者：木村　亮介

レストラン青葉
カニの食べ放題 90分

10月27日～30日　要予約
平日　17:00～20:00
土日　16:00～20:00
お一人様
大人 2,940円(税込)
小人 1,575円(税込)（５歳～10歳まで）

寒川神社参集殿　ご予約・お問い合わせは　0467-75-5555

❖青少年活動だより

寒川神社少年館

―館生 例祭の神賑行事に参加する―

少年館では、日頃見守り頂いている寒川大明神様の神恩に対し、感謝の気持ちをお伝えしようと、館生が一生懸命に作成した絵画や書道の作品を、例祭のお祝いとして奉納致しました。

また、流鏑馬神事を見学し、馬と射手の勇ましい姿に大歓声を送ったり、子供神輿の渡御にも参加、小若連の人等と混ざり担がさせて頂くなど、神様のお側にて楽しくお仕え致しました。

BS寒川第二団

―例祭前に参道の清掃奉仕―

ボーイスカウトでは、寒川神社例祭斎行の前に、スカウトそれぞれが日頃の感謝の気持ちを込め、参道の清掃奉仕に取り組みました。

活動の際、神饌田へ立寄り、自分達の手で植えた稲の成長を確認、今から稲刈りがとても楽しみです。

第四十四回 菊花・写真展開催のご案内

当神社では、澄み渡る秋空が拡がる十一月十日（木）より二十三日（水）にかけて、第四十四回菊花・写真展が開催されます。

期間中、境内には近隣の菊花会所属の愛好家が腕によりをかけた菊花が廻廊を飾ります。又、広く一般より寄せられた傑作写真の数々が、寒川神社四季折々の様子を映し出します。

写真展作品募集

□開催期間　平成二十三年十一月十日～二十三日
□題　材　寒川神社に関係のある未発表の作品
□サイズ　・白黒・カラー
・四ツ切または六ツ切（ワイド可）
□出品点数　一人五点以内
□応募期間　平成二十三年十月一日～三十一日
□入賞発表　平成二十三年十一月上旬（入賞者へ直接通知）
□作品の裏に住所・氏名・電話番号・撮影年月日・画題を明記
□応募及問合　教化宣布課　☎〇四六七(七五)〇〇〇四

平成22年神社本庁統理賞受賞作品

第六十五回

例祭奉灯大句会開催

去る九月四日、寒川俳壇主催の奉灯大句会が参集殿に於いて開催されました。

今年で六十五回目を数えるこの句会は、歴史と由緒を併せ持つ全国でも有数の句会となっており、厳正なる審査の結果、内山良子氏の句が二年連続で最優秀句に選出され、当神社より一之宮賞が授与されました。

また、この句会で詠まれた句は、例祭期間中、境内に掲げられました。

一之宮賞

駈け出して　風に躓く　羽抜鶏

内山　良子

寒川病院だより

☎0467(75)6680　寒川町宮山193
http://www.samukawabyouin.com

渡辺卓医師よりご挨拶

㈜寒川神社 寒川病院
内科
渡辺　卓

私は今年度の４月より寒川病院内科に常勤医として入職致しました、渡辺卓と申します。名前はすぐると読み、元読売巨人軍　江川　卓さんと一緒です。東海大学医学部を卒業し、研修医を経て東海大学医学部付属病院内科学６教室に入局いたしました。当時の内科学教室は１～７まであり現在の消化器内科にあたり、当院では鳴海先生・車田先生の後輩となります。私が消化器内科を志望した理由は、病気により入局しようとしていた外科系の医局を断念せざるを得ず、比較的身体的に負担のかからない（といっても入局後数年間は大変でしたが）内科を見渡したときに、薬だけでなく自分の技術を磨くことで患者さんの手助けができる可能性を考え、また当時の医局の雰囲気が家族的であった事より消化器内科に入局しました。

皆さんもご存知のように、消化器内科医は内視鏡の習得が絶対条件ですが、決してゴールといえるものがありません。と申しますのは次々に開発される機材に対応し、使いこなしていかなくてはいけないからです。具体的に最近の例で申しますと経鼻内視鏡が挙げられ、テレビや雑誌にてご存知の方も多いかもしれません。（当院では検診部門でのみ施行しています）一般的には通常内視鏡の細いタイプと理解されているようですが、挿入方法はもとより画像解像度・操作性等が異なるため、幾つかの新たな技術の習得が必要でした。

数年後には次世代のカプセル内視鏡が発売され、消化器内科医が内視鏡を挿入する機会が減るといわれていますが、内視鏡治療がある限りは内視鏡技術の鍛錬が必要であると考えています。

寒川病院へ赴任してから上部・下部内視鏡検査について説明させて頂き、多くの患者さんに施行させて頂きました。前癌病変や一部分のみ癌が存在するポリープの段階で発見できた方が数名おり、今後も内視鏡検査をしっかりと行う事が自分の役割と考えています。

消化管症状がある方のみならず、何か消化管に不安があり検査について希望がある方は、ぜひご相談頂きたいと思います。

診療日

	月	火	水	木	金	土
午前	○					○ 第1.3.5週
午後				○		

※ 渡辺医師の外来日
お電話にてご確認の上、御来院下さい。

七五三詣のご案内

七五三詣は古来より、誕生から幼児期まで無事成長できた事を感謝して神社に参拝し、これからの将来の幸福と長寿を併せ祈念する大切な人生儀礼です。

色とりどりの菊花に囲まれた当神社にて、心に残る〝七五三詣〟をなされますよう、ご案内申し上げます。

人事

◆新採用
＜寒川病院＞
薬剤師　小倉みのり
看護補助者　木村　馨
寒川病院勤務を命ずる
平成二十三年十月一日

医療講演会のご案内

と　き　10月28日(金)
午後２時～３時

ところ　寒川神社 参集殿

内　容「一過性脳虚血発作」
～脳梗塞の前兆に
気をつけよう～

講　師　副病院長
栗田　啓司

入場無料　申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467－75－6680
寒　川　病　院

祝祭日には国旗を掲げましょう

冬川俳壇

夕刊を読む板の間や秋暑し　根岸　君子
紀の国の山を削ぎたる秋出水　飛石　槿花
牛の瞳の夕焼けている花野かな　金指　月光
秋暑し忘れぬうちに書く一字　菅沼うめの
通草の実下げて電車へ乗り込みぬ　山本　朝子
面構えすでに貫禄子蟷螂　松本美智子
風走る子の声走る運動会　倉谷　節子
爽涼やするりと糸の通りたる　岩田美代子
飛行機の引く白線や天高し　皆川志んご
母の齢越えて静かな落し水　宮入　つる
秋の暮路地に忘れし三輪車　芹沢　徳光
追伸のように秋蝉鳴きだしぬ　金子　つぢ
梨送り今年も無事を伝えけり　三輪　恭子
川底の石うらがえる水の秋　露木てる子
夜顔の闇を掃いし一花あり　千葉　静香
蒼天にまさるものなし秋うらら　菅沼　保幸
彼岸花似た顔ばかり集ひけり　岡田風呂釜
秋暑し隣家の枝の伸びてきし　竹村真砂美
雷や一秒先の闇の中　瀧井どん舟
みだしなみ捨てたくなりて秋暑し　四ッ車梢月

十月　手水舎奉掲　本居宣長

いのちつぐ　食物衣物　住む家ら
君のめぐみぞ　神のめぐみぞ

相模詠草

猛暑日に夕立ち去りて色走る虹の大橋涼しさ誘う　山口　幸子
夕暮れの卯の花小路にゴロゴロと雷鳴せまり急ぎもどれる　山根喜美代
コロッケものり巻き寿しもその人の手造りこその加減良き味　安藤　慧
水無月の涼菓「あじさい」いただきてお茶のひと時友と和める　川島惠美子
あゝお岩さん瞬時に思いぬ一糎の段差につまずき顔したたかに打つ　吉田マツ子
桃色の小さき花をくるくると茎に巻きつけねじ花の咲く　天利　春枝
公園の放射能汚染を危ぶみて母親達は計測始む　岡元　芳子
身を洗ふ緑のかぜも子育ての娘には汚染の風であるらし　堀江　照子
「洪鐘」と掲げてあるに円覚寺の踏み滅りし石段孫と上りぬ　宇田川時子
よくみれば緑葉の中見え隠れ黄色の花は落花生でした　土屋トミ子
折り紙をおぼえた曾孫は五歳なり鶴折るその手見つつ愛しむ　三留とく子
庭に植えしトマト茄子キュウリ色取りどりに実りて食す　浜田　寿子
地場産の野菜使った講習会鮮度の良さに料理際立つ　亀山　文子
指切って成せし約束いまもなほ果たされぬまま胸をさす針　杉本　照世

お　詫　び

八月号で吉田マツ子様が詠まれた歌に間違いがございました。
お詫び並びに訂正させて頂きます。
「庭の花よ」これが見舞と笑む友の梅花空木の清らかな白　吉田マツ子

編集後記

表紙写真説明

厳粛なる祭儀を無事務め畢え、退下する祭員。

柳葉魚（シシャモ）はアイヌ語でカムイ・チェプといわれ、神がくれた大量の食材とされた。
現在、漁獲高は減激し高級魚となっているのは、神がお怒りだからなのだろうか。（岡）